

## 令和2年度 中学生の「税についての作文」

柏市長賞

### 「私達を支える税金」

柏市立松葉中学校 三年 扇 杏莉

「税金の存在があったから助かった」という経験がある人も多いのではないだろうか。私もその一人だ。

私の祖母は、五年前に脳梗塞で倒れた。私の家は兄弟も多く両親は共働きのため、小さい頃はよく祖母が家に来て兄弟の世話をしてくれた。祖母の家から私の家までの道は決して近いとはいえない。それでも困った時には、いつでも駆けつけてくれた。私はそんな優しい祖母が大好きで、祖母の存在はかけがえのないものだった。倒れた時、近くを通りかかった学生がすぐに救急車を呼んでくれたので幸い命に問題はなかった。医師の先生は、

「処置がはやく行えて良かったですね。」

と仰っていたという。すぐに救急車を呼ぶことができたのも、税金によって活動の費用が賄われているからである。調べて知ったことだが、海外では救急車の搬送にお金がかかる国もあるそう。日本では、社会保障制度のおかげで多様な公的サービスを受けることができ、安心して生活を送れる。身近に起こった出来事から税金は多くの命を救っている実感した。七十二歳になった祖母は、身体の左半分が少し不自由なもの、とても元気に暮らしている。現在は週に三回、送迎も含めデイケアサービスを受けている。デイケアセンターでは、絵を描いたり、体を動かしたりして楽しい時間を過ごしているそう。

日本は今、少子高齢化が急速に進行していて、社会保障の費用が増え、一方でその費用を負担する労働力が減っていく事が課題とされている。このままでは、自分が高齢者になった時には、一人の高齢者を一人の働き手が支える状況になってしまうだろう。父は介護の仕事をしていて、近くで見えてきた私は、その大変さが身に染みて分かる。働き方の多様化で労働力が十分ではない厳しい財政状況を踏まえ、これからの日本では、安心して暮らせるための社会保障制度や持続可能な財政構造を築いていく事が必要になる。そのためには、私達一人ひとりが日本の税金について考え、その費用を公平に負担することが大切だ。今年、新型コロナウイルスの影響により納税が困難な方への、特例の制度も出ている。延滞税もかからずに納税を猶予できるそう。私達の生活に合わせた、このような制度は大変ありがたく感じた。また私達は、日常で税金が役立っていると感ずることができる。だから良い気持ちで税金を納めていきたい。

大切な祖母を助けてくれた税金の存在に感謝している。そして私は今、将来の夢を実現するために勉強中だ。良い環境で学べるのも税金のおかげで、私の夢も支えてくれている。そう思うと、とても素晴らしいものだと思える。私も将来社会人になったら、しっかりと税金を納め、その税金が誰かの支えになればいいなと考えている。